

各都道府県教育委員会教育長 様
各市区町村教育委員会教育長 様
各都道府県社会科教育研究会会長 様
各都道府県小学校長・義務教育学校長 様
社会科教育関係者 様

令和8年7月

全国小学校社会科研究協議会
会長 草刈あずさ
第64回全国小学校社会科研究協議会研究大会
徳島大会実行委員長 永井 武

第64回全国小学校社会科研究協議会研究大会 第46回四国社会科教育研究大会

徳島大会のご案内 (最終案内)

大会主題

未来に向けて考え続け、よりよい社会を切り拓く子どもの育成
— 社会に対する認識と判断する力を育む社会科学習 —

期日・会場

令和8年11月19日(木) 13:00～16:45

(開会行事・全体会・記念講演)

全体会会場 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

令和8年11月20日(金) 9:30～16:10

(公開授業・全体会・学年別授業研究会・学年別課題研究会)

第1会場 徳島市助任小学校

第2会場 徳島市沖洲小学校

主 催	全国小学校社会科研究協議会 四国社会科教育協議会 徳島県小学校教育研究会社会部会
後 援	文部科学省 愛媛県教育委員会 香川県教育委員会 高知県教育委員会 徳島県教育委員会 徳島県市町村教育委員会連合会 徳島市教育委員会 佐那河内村教育委員会 全国連合小学校長会 徳島県小学校長会 徳島市・名東郡小学校長会 公益社団法人徳島県教育会 一般財団法人徳島県教職員互助組合 公益財団法人日本教育公務員弘済会徳島支部

大会主題

未来に向けて考え続け、よりよい社会を切り拓く子どもの育成 —社会に対する認識と判断する力を育む社会科学習—

【社会の情勢とめざす教育の方向性】

子どもが18歳成人として生きていく、今後の未来を予測することは今までよりさらに困難
一人一人が社会の創り手となり、持続可能でウェルビーイングが実現されるよりよい社会の実現、発展をめざす

めざす子ども像

社会の特色や意味などが分かるとともに、根拠や理由をもって自分の考えを決める力を身につけ、他者とともに社会の在り方を考える。そして、未来に向けて考え続け、社会の創り手として、よりよい社会を協働して切り拓いていくことができる子ども

認識

社会の特色や意味などが深く分かる



判断する力

根拠や理由をもって自分の考えを決める力

2012～2015年度 認識を中心とした研究

他者とともに社会の在り方を考える

2002～2011年度 判断を中心とした研究

2016年度より 認識と判断をバランスよく育む研究

社会に対する認識と判断する力を育む社会科学習

研究内容

1

単元構想と振り返り

(1) 単元構想の方策

(子どもの意識がつながる単元にする方策)

① 日常的アプローチ

単元前から関心を高めたり見取ったりして意識がつながるようにする

② 学習問題づくり

教材との出会いを工夫
・切実性や当事者性を高める
・社会的事象との心理的な距離を縮める

③ 個の追究と全体での共有

・追究する内容や方法を自己決定して学習を調整する場を適宜設定
・個の追究と全体での共有を結び付けて学びを深める

(2) 振り返りの方策

(子どもの意識をつなげる振り返りの方策)

① 振り返りの観点

ア.自分の学習や変容を自覚する観点
イ.今後の学習や生活へとつながる観点

② 考えの見取りと活用

見取りを充実させ、単元の修正や判断する場面の設定に生かす
(デジタル学習基盤も活用して)

研究内容

2

判断する場面の設定

(1) 柔軟な場面設定

判断する力は繰り返し経験することで少しずつ高まる力であると捉え、弾力的に取り入れる

① 社会への関わり方を考える選択・判断【A】

社会に見られる課題を明確に捉えた上で、解決に向けた社会の在り方や自分たちにできること・協力できることなどを考える判断

学習指導要領で
求められる判断

② 深く分かることや見通しにつながる判断

○ 深く分かることにつながる判断【B】

・社会の特色や意味に迫ることに重点を置いた判断
・あえて立場を決めて考えることで、学んだことを主体的に活用し、他者との対話を通じて考えを多角化させる

学習指導要領の
目標・趣旨の実現に向けた
徳島県独自の判断

○ 見通しにつながる判断【C】

・単元や授業の導入時に行うことが多い、予想を含む判断
・既習事項や資料などを基にいったん立場を決めることで、「何を調べるべきか」等の強い動機や問題意識を生じさせ、追究の見通しをもたせる

(2) 判断への意欲を高める工夫

教師が唐突に判断を迫るのではなく、矛盾・対立・葛藤・相違(ズレ)・情意(感情)・課題の明確化などの要素に注目して工夫することで、「話し合いたい」「聞いてみたい」のように意欲を高める

研究内容

3

考えを深める手だて

視点や立場を意識して、考えを深める手だてを講じる

(1) 発問・言葉かけ

ゆさぶる、焦点化する、具体化する・一般化する、整理する、子ども同士をつなぐ、確認するなどの意図的な問いかけにより、自らの考えを立ち止まって見直し、別の視点や立場から考え、本質的な部分へ迫るようにする

(2) 資料提示

発問・言葉かけの要素も意識して資料を提示し、新しい情報から発想が広がるようにしたり、焦点化して思考が深まるようにしたりする

(3) 板書・ツール

議論の流れや対立点、考えの立ち位置を可視化し、建設的に議論を進めることができるようにする

日程

■ 第1日目 11月19日(木)

12:15 13:00 14:00 15:10 16:40 16:45

受付	開会行事	全体会	記念講演	閉会
----	------	-----	------	----

〔開会行事〕

- 1 全小社研会長挨拶
- 2 大会実行委員長挨拶
- 3 来賓祝辞・来賓紹介
- 4 全小社研会務報告

〔全体会〕

- 1 大会主題提案
徳島県小学校教育研究会社会部会研究部長
佐藤 章浩
- 2 指導講評
文部科学省初等中等教育局教育課程課
教科調査官 小倉 勝登 先生
- 3 次期大会主題提案 広島県小社研、茨城県社研



全体会会場

あわぎんホール (徳島県郷土文化会館)

徳島市藍場町2丁目14番地
☆ 徳島駅から徒歩8分
☆ 空港連絡バスで25分、
徳島駅下車 徒歩8分

指導講師

全体会指導講師 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 小倉 勝登 先生

記念講演

「伝統芸能が大切なのはなぜか？— 阿波人形浄瑠璃における取組から —」

講師 徳島県立阿波十郎兵衛屋敷 館長
NPO法人阿波農村舞台の会 理事長 佐藤 憲治 先生

〈紹介〉

1961年徳島県生まれ。1985年上智大学外国語学部を卒業し徳島県庁に入庁。文化の森総合公園や郷土文化会館、文学書道館など県の主要な文化施設の整備・運営や阿波人形浄瑠璃、阿波藍、音楽など、長年にわたり徳島の文化振興に従事。2003年にはNPO法人阿波農村舞台の会を設立し、県内に多数残る農村舞台の保存・活用を図るなど、公私ともに文化振興に取り組んできた。2014年3月に徳島県庁を早期退職し、指定管理者として徳島県立阿波十郎兵衛屋敷を運営しながら、徳島ならではの文化資源を活用したまちづくりに取り組んでいる。2018年4月より同施設館長。2025年7月より阿波農村舞台の会理事長。



全国理事会・レセプション

17:15 18:15 18:30 20:30

全国理事会	移動	レセプション
-------	----	--------

会場：ザ・グランドパレス徳島
徳島市寺島本町西1-60-1
TEL：088-626-1111

■ 第2日目 11月20日(金)

8:50 9:30 10:15 10:45 12:00 13:00 14:10 14:20 16:10

受付	公開授業	移動 休憩	全体会・指導講評	昼食	学年別 授業研究会	移動 休憩	学年別 課題研究会
----	------	----------	----------	----	--------------	----------	--------------

指導講師

第1会場 助任小学校指導講師 大妻女子大学教授 澤井 陽介 先生
第2会場 沖洲小学校指導講師 帝京大学教授 鎌田 和宏 先生

第1会場

徳島市助任小学校

〒770-0805 徳島県徳島市下助任町1丁目1番地
TEL 088-622-8375 FAX 088-622-8436
校長 平山 康史
HP https://school.e-tokushima.or.jp/es_suketo/



会場校テーマ

人とつながり、社会とつながり、よりよい未来を切り拓く子どもの育成
— 子どもの意識がつながり、考えを深め合う単元構想と授業展開 —

研究の概要

本校は、研究主題を「人とつながり、社会とつながり、よりよい未来を切り拓く子どもの育成」とし、社会科学習の中で子どもの「認識」と「判断する力」をバランスよく育むことに取り組んでいます。意識のつながりを大切にした単元構想や振り返りの活用、判断する場面の柔軟な設定、考えを深めたり整理したりするための手だての工夫を研究内容とし、他者と協働して、根拠をもって社会の在り方を考え続ける子どもの姿をめざして実践研究を進めています。

公開授業

学級	授業者	単元名	司会者	授業協力者	助言者
3年2組	近藤 綾香	わたしたちのくらしと工場	勝浦町立横瀬小学校 教頭 江上 信也	藍住町藍住北小学校 教頭 近藤 恭弘	上勝町立上勝小学校 校長 亦川 隆雄
3年4組	海老名 樹	わたしたちのくらしと工場			
4年1組	行本 将典	地域で受けつがれてきたもの	板野町板野東小学校 教頭 谷口 和久	徳島市川内南小学校 教諭 井内 直加	板野町板野西小学校 校長 長家 誠
4年3組	宮北 成生	地域で受けつがれてきたもの			
5年2組	森 千貴	情報と販売業	美馬市立脇町小学校 教頭 松尾 直美	鳴門市板東小学校 教諭 古田 安伸	美馬市立美馬小学校 校長 長江 徹子
5年3組	井上佐和子	日本の工業生産の今と未来			
6年2組	前川 直哉	近代国家を目ざして	鳴門市撫養小学校 教頭 松浦 昌宏	鳴門市教育委員会 指導主事 前田 晴雄	鳴門市第一小学校 校長 尾崎 徳彦
6年5組	武知 由花	明治の新しい国づくり			

学年別課題研究会

学年	提案県	提案者	司会者	指導・助言者
3	A 東京都	八王子市立由木中央小学校 主任教諭 友田 詩子	大田区立入新井第五小学校 教諭 馬場 友博	八王子市立たがの杜小中学校 統括校長 北川 大樹
	A 山梨県	山梨大学教育学部附属小学校 教諭 小澤 脩人	甲府市立伊勢小学校 教諭 神戸 博貴	甲斐市立敷島小学校 校長 久保田 勲
	B 京都府	京都市立七条第三小学校 教諭 井上 巧	京都市立大藪小学校 教諭 川合 翔子	京都市総合教育センター 指導主事 松村 一也
	B 徳島県 勝浦郡	阿南市立富岡小学校 主幹教諭 山田 健人	勝浦町立横瀬小学校 教頭 江上 信也	上勝町立上勝小学校 校長 亦川 隆雄
4	A 北海道	旭川市立朝日小学校 主幹教諭 井須 哲朗	旭川市立忠和小学校 教諭 野原 翔太	旭川市立北鎮小学校 校長 田村 貴史
	A 神奈川県	横浜市立山元小学校 主幹教諭 小泉 斎	横浜市立田奈小学校 主幹教諭 池田 翼	横浜市立瀬谷さくら小学校 校長 場家 誠
	B 石川県	金沢市立戸板小学校 教諭 伊藤 隆志	金沢市立浅野町小学校 教頭 廣田 竜一	金沢市立十一屋小学校 校長 荒川 和洋
	B 徳島県 板野郡	松茂町立喜来小学校 教諭 原田 圭恭	板野町板野東小学校 教頭 谷口 和久	板野町板野西小学校 校長 長家 誠
5	A 青森県	南部町立名川小学校 教諭 高橋 謙太郎	階上町立赤保内小学校 校長 斉藤 祐之	階上町立道仏小学校 校長 長根 朋子
	A 埼玉県	さいたま市立大宮南小学校 教諭 石川 秀治	さいたま市立日進北小学校 教諭 作田 丞	さいたま市立春岡小学校 校長 千明 勉
	B 千葉県	千葉市立打瀬小学校 教諭 山本 慧一	千葉市立上の台小学校 教諭 西崎 峻広	千葉市立横戸小学校 校長 渡邊 泰弘
	B 徳島県 美馬市	美馬市立脇町小学校 教諭 古川 陽	美馬市立脇町小学校 教頭 松尾 直美	美馬市立美馬小学校 校長 長江 徹子
6	A 兵庫県	神戸市立西山小学校 教諭 辻 彩那	神戸市立桜の宮小学校 教諭 菅野 元宏	神戸市立山田小学校 校長 清水 健司
	A 島根県	出雲市立荘原小学校 教諭 野々村 頼和	松江市立竹矢小学校 主幹教諭 仁宮 香	松江市立法吉小学校 主幹教諭 和田 倫寛
	B 山口県	山口市立大庭小学校 教諭 山縣 一輝	山口大学教育学部附属山口小学校 教諭 田島 大輔	山口市立湯田小学校 校長 川西 俊之
	B 徳島県 鳴門市	鳴門市鳴門西小学校 教諭 久米 美希	鳴門市撫養小学校 教頭 松浦 昌宏	鳴門市第一小学校 校長 尾崎 徳彦

第2会場

徳島市沖洲小学校

〒770-0874 徳島県徳島市南沖洲2丁目2-4

TEL 088-664-0321 FAX 088-664-0366

校長 米田 直紀

HP https://school.e-tokushima.or.jp/es_okinosu/



会場校テーマ

自ら考え、伝え合い、未来に向かって問い続ける子どもの育成
— 社会的事象の見方・考え方をもとにして問題発見から問題解決に向かう授業づくり —

研究の概要

社会的事象の見方・考え方を働かせながら、社会の意味やつながりが深く分かり、根拠や理由をもって判断する力を身に付けることを目指しています。「問い続ける」ことを軸に、社会を見つめ、見いだした問題を解決まで進めていく一連の学びを子どもが何度も体験することが、研究主題実現に資すると考え、以下の3点を柱に授業づくりに取り組んでいます。

①単元構想と振り返り ②認識と判断 ③考えを深める手だて

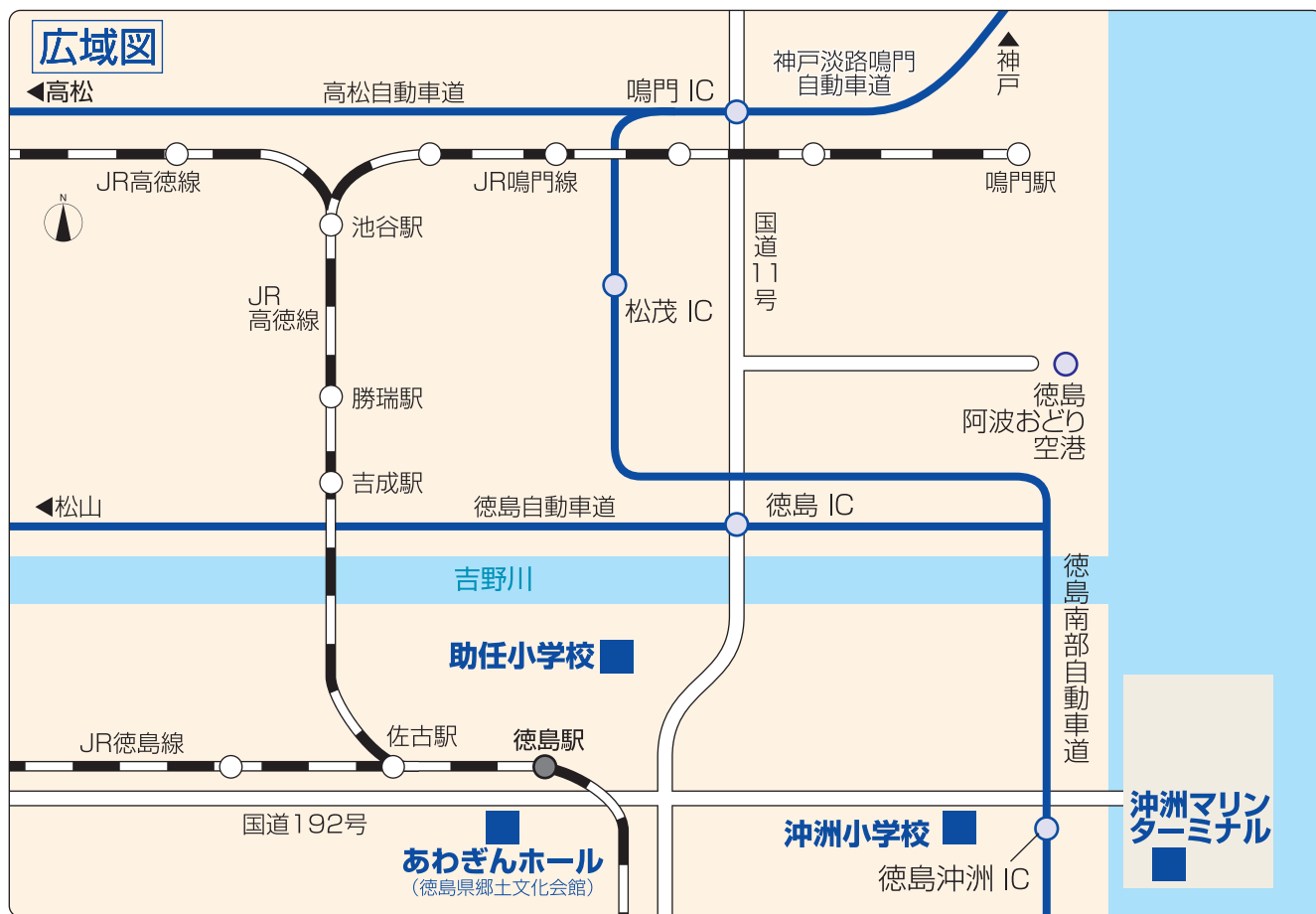
公開授業

学級	授業者	単元名	司会者	授業協力者	助言者
3年1組	神名 優摩	沖洲のねぎづくり	那賀町立鷺敷小学校	鳴門教育大学附属小学校	那賀町立相生小学校
3年3組	平尾 智美	沖洲のねぎづくり	教頭 藤居 晋一郎	教諭 生杉 真美	校長 西川 栄展
4年1組	前川 勇太	地震にそなえるまちづくり	吉野川市立高越小学校	板野町板野西小学校	吉野川市立川島小学校
4年3組	大下 真季	地震にそなえるまちづくり	教頭 坂東 壽枝	指導教諭 谷口 久美子	校長 小西 貴仁
5年1組	板東 佑哉	日本の工業生産の今と未来	石井町浦庄小学校	石井町石井小学校	石井町藍畑小学校
5年3組	森 麻衣	日本の工業生産の今と未来	教頭 笹川 亨	教諭 宮本 陽平	校長 河野 恵子
6年1組	横瀬 実郁	明治の新しい国づくり	小松島市千代小学校	徳島市八万南小学校	小松島市坂野小学校
6年3組	富永 俊介	新しい文化と学問	教頭 徳永 登美	教頭 松永 宏	校長 近藤 憲市

学年別課題研究会

学年	提案県	提案者	司会者	指導・助言者
3	A 大阪府	大阪市立聖和小学校 主務教諭 山中 加織	大阪市立上福島小学校 主務教諭 八木 新太	大阪市立南百済小学校 副校長 二俣 峰雄
	A 香川県	観音寺市立一ノ谷小学校 教諭 池川 藍霞	香川大学教育学部附属坂出小学校 教諭 半澤 友博	観音寺市立観音寺小学校 校長 小西 寛
	B 岐阜県	岐阜大学教育学部附属小中学校 教諭 松尾 雄太郎	山県市立高富小学校 教諭 林 賢太郎	池田町立温知小学校 校長 石井 幹也
	B 徳島県 那賀郡	元那賀町立鷺敷小学校 教諭 大谷 祐貴	那賀町立鷺敷小学校 教頭 藤居 晋一郎	那賀町立相生小学校 校長 西川 栄展
4	A 高知県	高知大学教育学部附属小学校 教諭 野村 晃弘	高知市立潮江東小学校 教諭 角森 玄賢	高知市立介良小学校 校長 山下 美奈子
	A 沖縄県	琉球大学教育学部附属小学校 教諭 宮城 安弘	那覇市立開南小学校 教頭 鉢嶺 勲	浦添市立仲西小学校 校長 宮里 満男
	B 滋賀県	甲賀市立佐山小学校 教諭 小林 佑規	滋賀大学教育学部附属小学校 教諭 尾田 卓也	甲賀市立油日小学校 校長 中嶋 政二
	B 徳島県 吉野川市	吉野川市立鴨島小学校 教諭 数尾 大樹	吉野川市立高越小学校 教頭 坂東 壽枝	吉野川市立川島小学校 校長 小西 貴仁
5	A 名古屋市	名古屋市立旭出小学校 主幹教諭 田中 隆晃	名古屋市立楠小学校 教頭 植村 宏明	名古屋市立たかしま小学校 校長 谷藤 洋久
	A 奈良県	斑鳩町立斑鳩小学校 教諭 寺澤 学	宇陀市立榛原小学校 教諭 鶴岡 雅之	大和郡山市立片桐小学校 校長 木村 栄一
	B 広島県	廿日市市立平良小学校 教諭 眞鍋 雄大	廿日市市立地御前小学校 教諭 坪山 祐介	廿日市市立廿日市小学校 校長 中谷 一志
	B 徳島県 名西郡	石井町石井小学校 教諭 堀井 悠平	石井町浦庄小学校 教頭 笹川 亨	石井町藍畑小学校 校長 河野 恵子
6	A 岡山県	岡山市立吉備小学校 岡山大学附属小学校 教諭 吉岡 涼子 教諭 西 勇帆	倉敷市立中洲小学校 副校長 齋藤 徹也	倉敷市立水島小学校 校長 三竿 裕之
	A 愛媛県	松山市立さくら小学校 教諭 水口 直人	西予市立宇和町小学校 教諭 上田 真之介	西条市立吉井小学校 校長 中下 康
	B 福岡県	八女市立三河小学校 指導教諭 中村 公祐	広川町立中広川小学校 教諭 宮原 正尚	八女市立立花小学校 教頭 久保 公
	B 徳島県 小松島市	小松島市坂野小学校 教諭 佐藤 駿丞	小松島市千代小学校 教頭 徳永 登美	小松島市坂野小学校 校長 近藤 憲市

徳島大会 会場案内図



ホテル案内図



利用予定
ホテル案内

- A** ダイワロイネットホテル徳島駅前 **D** JR ホテルクレメント徳島
- B** ホテルサンルート徳島 **E** スマイルホテル徳島
- C** 徳島グランヴィリオホテル

大会参加申し込みのご案内

本大会の申し込み受付や参加費の収受は、主催者の委託を受けて、株式会社JTBが行います。

1 参加申し込み方法

申し込み専用ウェブサイトからの申し込みをお願いします。

URL : <https://amarys-jtb.jp/syakaika64/>



2 受付期間

令和8年8月1日(土)～令和8年9月18日(金)

3 大会参加費

お一人 5,000円

- 振込締切 令和8年9月30日(水)厳守をお願いします。
- 参加者数は、申し込みの状況により参加人数を制限する場合があります。ご承知おきください。
- 大会参加費を収受した時点で申し込み完了となります。入金されました参加費につきましては、キャンセルができませんのでご承知おきください。
- 1日参加も2日参加も同料金です。
- 県外からの提案者、司会者、指導助言者の皆様からも、同じく大会参加費をいただきます。
- レセプションの申し込み、宿泊施設、2日目のお弁当の手配も承ります。

4 申し込みについてのお問い合わせ

株式会社JTB 徳島支店 担当者：周藤

〒770-0831 徳島県徳島市寺島本町西1-33 第2中筋ビル3階

電話：088(623)1237 FAX：088(654)5120

5 その他

- 当日の受付について、2日間参加される方は、1日目、2日目ともそれぞれの会場で受付をお願いします。

- 駅から会場へは路線バスをご利用ください。

時刻表などは「徳島バスNavいまドコなん」をご確認ください。

[<https://transfer.navitime.biz/tokushima/pc/map/Top>]

会場最寄りバス停 全体会場 あわぎんホール「郷土文化会館前」
第1会場 助任小学校「助任橋・徳島大学前」等
第2会場 沖洲小学校「沖洲小学校前」



- 自家用車の駐車場として沖洲マリントーミナルを確保しております。(住所：徳島市東沖洲2-14)
- 2日目は各会場と駐車場(沖洲マリントーミナル)を往復する無料シャトルバスを運行いたします。
- シャトルバス等、詳細につきましては、申し込まれた方へ申し込み用専用ウェブサイトを通して、後日ご案内いたします。

徳島県小学校教育研究会社会部会ホームページ

徳島県小学校教育研究会社会部会の研究主題、過去の実践、大会についての情報は、ホームページをご覧ください。

URL : <https://shokyoken-shakai.tokushima-ec.ed.jp/>



【大会に関するお問い合わせ】 徳島大会実行委員会事務局

【大会運営関係】

事務局長：長家 誠(板野町板野西小学校長)

〒779-0111

徳島県板野郡板野町那東字泉ノ西5番地

電話：088(672)0309

E-mail : nagaya_makoto_1@g.tokushima-ec.ed.jp

【研究・理論・授業関係】

研究係校長：森北 和典(阿南市立羽ノ浦小学校長)

〒779-1101

徳島県阿南市羽ノ浦町中庄原婦知1番地1

電話：0884(44)2053

E-mail : morikita_kazunori_1@g.tokushima-ec.ed.jp